

## 令和2年度第2回 立川市入札等監視委員会審議概要

|  |   |       |             |
|--|---|-------|-------------|
| 開催日及び場所  | 令和2年6月26日(金) 立川市役所 201会議室   |       |             |
| 出席委員氏名   | 鈴木満 委員長、山田春紀 委員、榎本孝芳 委員   |       |             |
| 審議対象期間   | 令和2年1月16日～令和2年3月31日   |       |             |
| 抽出案件   | 工事 0件   | 委託 8件 | 総件数 8件 (備考) |
| うち一般競争入札   | 工事 0件   | 委託 2件 | 総件数 2件      |
| うち特命随意契約   | 工事 0件   | 委託 6件 | 総件数 6件      |
| 次 第  | <p>1 委員長あいさつ</p> <p>2 議事</p> <p>(1) 審議</p> <p style="padding-left: 20px;">平成31年度委託等契約抽出案件について<br/>(平成2年1月16日から平成2年3月31日まで)</p> <p>(2) 報告</p> <p style="padding-left: 20px;">ア 委託等契約の推移について(平成27年度から平成31年度)</p> <p style="padding-left: 20px;">イ 平成31年度委託等契約の状況について</p> <p style="padding-left: 20px;">ウ 平成31年度委託契約プロポーザル案件審査結果について</p> <p style="padding-left: 20px;">エ 平成31年度変動型最低制限価格(委託等)について</p> <p style="padding-left: 20px;">オ 平成31年度工事成績評定実施報告について</p> <p style="padding-left: 20px;">カ 平成31年度委託成績評定実施報告について</p> <p>3 その他</p> <p style="padding-left: 20px;">立川市新清掃工場整備運営事業に係る業者選定に関するまとめ</p> |       |             |
| 委員からの意見、質問及びそれに対する回答   |   |       |             |
| 意見・質問  | 回 答   |       |             |
| <p>1 委員長あいさつ</p> <p>2 議事</p> <p>(1) 審議</p> <p style="padding-left: 20px;">ア 平成31年度委託等契約抽出案件について<br/>(平成2年1月16日から平成2年3月31日まで)</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年1月16日から令和2年3月31日までに入札された、総価契約(以下、総価)・一般競争入札(以下、競争)の委託等契約について、平成30年度の同一期間との比較結果を説明する。</li> <li>・総価・競争分の契約件数は12件で平成30年度と比較して4件増加した。平均参加者数は6.5社から4.8社で1.7社減少、単純平均落札率は62.39%から79.83%で17.44ポイント増加した。</li> </ul>  |       |             |

|  |  |
|--|--|
| <p>* 例年、管渠清掃が高落札率で、5年以上にわたり受注者が同じ業者であり、競争が十分に行われていないのではないかと。地域要件の拡大や長期継続契約にするなどの工夫をして競争の促進を図るべきである。</p> <p>(2) 報告</p> <p>ア 委託等契約の推移<br/>(平成 27 年度から平成 31 年度まで)</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 変動型最低制限価格は 6 件が算定対象で、算定した入札は 2 件で算定率は 33.3%であった。地域要件は予定価格では 11 件が市内対象になるが、過去の状況から市内から広げた入札は 8 件あった。所在地区分は市内が 4 件で受注率は 33.3%であった。また、低入札案件（落札率が 50%以下）が 1 件あり、くじ引きによる入札はなかった。</li> <li>・ 落札率 95%以上の総価・競争分 2 件について説明する。<br/>「管渠清掃委託」、「道路反射鏡保守点検委託」</li> <li>・ 入札中止・不調対応以外の総価・特命随意契約（以下、特命）6 件について説明する。<br/>「基幹系システム改修委託（「データヘルス時代の母子保健情報の利活用」に伴う健康管理システム改修）」、「公園台帳システム改修委託」、「生活保護システム改修委託」、「立川市住民情報システム共同利用サービス提供業務」、「立川市学童保育所管理システム改修委託（再構築業務委託）」、「立川市柴崎市民体育館建物劣化度調査業務委託」。</li> </ul> <p>* 競争性が保たれているか他市の状況等を含めて検証をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成 27 年度から 31 年度までの委託等契約の推移について、特徴的な点を説明する。</li> <li>・ 契約件数は、競争も特命も増減を繰り返しながら、傾向としては緩やかな増加傾向だったが、平成 30 年度から 31 年度はほぼ横ばいだった。税抜契約金額は、平成 28 年度と 30 年度より低いが、31 年度も高額になっている。単純平均落札率は大きな</li> </ul> |
|--|--|

|                                       |  |
|---------------------------------------|--|
| <p>イ 平成 31 年度委託等契約の状況について</p>         | <p>変動はなく、全体平均が 88%前後、競争が 77%前後で推移している。平均参加者数は、競争で若干減少の傾向が見られる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 31 年度の委託等契約状況について、30 年度との比較結果で特徴的な点を説明する。</li> <li>・落札者所在地別、入札方法別では、契約件数で大きな増減はなかった。税抜契約金額は、市内及び準市内業者の特命が 10 億円以上の減少になった。減少理由は、平成 30 年度の家庭ごみ等分別収集委託の更新が影響している。単純平均落札率は、総価契約の競争で所在地に関わらず、全体として上昇傾向にある。平均参加者数は、入札方法及び所在地に関わらず、大きな増減はなかった。</li> <li>・業種別の単純平均落札率は、15 業種が 90%以上、そのうちの 4 業種が 95%以上になった。環境関係測定機器保守、下水道管路内 TV カメラ調査業務、測量、管渠清掃が高落札率で推移している。</li> <li>・長期継続契約は、契約件数が 45 件で、契約終期が年度末（3 月 31 日）の案件は 25 件、それ以外が 20 件であった。単純平均落札率は、長期継続契約のほうが全体平均より 8.5 ポイントほど低くなっている。</li> </ul> |
| <p>ウ 平成 31 年度委託契約プロポーザル案件審査結果について</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 31 年度の委託契約プロポーザル案件 5 件の審査結果について説明をする。<br/>「立川市新学校給食共同調理場整備事業化調査等業務委託」、「立川市公共施設再編等検討業務支援委託」、「広報たちかわ編集業務委託（長期継続契約）」、「立川市街路灯・園内灯 LED 化等事業委託（複数年）」、「立川競輪 KEIRIN グランプリ 2019 シリーズ及び開設 68 周年記念競輪開催に係るイベント演出等関連業務委託」。</li> </ul>  |
| <p>エ 平成 31 年度変動型最低制限価格（委託等）について</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 31 年度の変動型最低制限価格（委託等）の状況について、特徴的な点を説明する。</li> <li>・変動型最低制限価格について、実施件数が総価・単価契約を合わせて 63 件で単純平均落札率は 73.37%であった。</li> </ul>  |

|   |  |
|---|--|
| <p>オ 平成 31 年度工事成績評定<br/>実施報告について</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 最低制限価格以下で失格が出た案件は 18 件、全体の 29%であった。社数としては、延べ 23 社であった。</li> <li>・ 平成 31 年度の工事成績評定の状況について、特徴的な点を説明する。</li> <li>・ 評定件数は 130 件で、これまでも、130 件前後で推移している。</li> <li>・ 総評定点の平均は 71.6 点で、ここ数年は 75 点前後で推移している。最高点は 83 点、最低点は 54 点であった。64 点以下の 3 件の業者には、改善計画書の提出を指導した。</li> </ul> |
| <p>カ 平成 31 年度委託成績評定<br/>実施報告について</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成 31 年度の工事系の委託成績評定の状況について、特徴的な点を説明する。</li> <li>・ 評定件数は 12 件で、これまでも、20 件前後と少ない。</li> <li>・ 総評定点の平均は 65.4 点、これまでも、65 点前後で推移している。最高点は 75 点、最低点は 40 点であった。</li> </ul>  |
| <p>* 年度開始前準備行為は競争見積合せで一般競争入札と変わらないのか。同じならば、一般競争入札で良いのではないか。</p> <p>* プロポーザル方式による契約案件について、審査委員により評価に極端な差がある場合が見受けられた。一番高い点数と一番低い点数を除外して平均を取る算定方式を取り入れるなど、少し工夫が必要と考える。</p> <p>* 委託等契約に変動型最低制限価格を適用すると、業者は相場価格や失格を意識して入札価格を決めるため、非常に親和性があるように思う。</p> | <p>* 実態は同じであるが、総務省が、議会で予算が認められる前に入札（予算執行）するのは適当でないという見解のため、このような方法をとっている。他市でも同じようにしている。</p>  |

|  |   |
|--|---|
| <p>3 その他</p> <p>(1) 立川市新清掃工場整備運営事業に係る業者選定に関するまとめ</p> <p>4 議事</p> <p>(1) 次回開催について</p> | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 立川市新清掃工場整備運営事業の事業に至る経緯や事業者選定方法の検討経過、今回の入札の検証等について、報告する。</li><br/><li>・ 次回の開催は9月1日（火）午前10時</li></ul> |
|--|---|